

競 技 注 意 事 項

1. 2025 年 日本陸上競技連盟規則および本大会要項・競技注意事項によって実施する。
2. 招集について
 - (1) 招集時間

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック 競技	種目によって招集開始時間及び招集完了時間が異なるので裏表紙の競技時間表を参照のこと		
フィールド競技			
小学生コンバインド	走高跳・走幅跳・ジャベリックボール	50分前	40分前

※招集所は、メイン競技場第1ゲート（100m ゴール側）外に設ける。

- (2) 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、競技用靴・アスリートビブス・ユニフォーム商標等の点検を行う。
- (3) 携帯電話等、(TR6.3.2)に関わる機器は競技場内に持ち込むことはできない。
- (4) 競技用靴については、競技規則 (TR5.2) の通りとする。

※小学生については、2020 年度に改定し更新されているシューズ規程に関するルール (TR5) の適用外とする。

- (5) 主競技場への入場は、招集完了後選手誘導係の誘導によって入場するので、招集所にて待機すること。
- (6) 招集は必ず本人が行い、代理による招集は認めない。招集に遅れた者は出場を認めない。但し、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ招集所に申し出ること。
- (7) リレー種目はオーダー用紙を招集完了1時間前までに招集所へ提出し、その上所定の時間に招集を受ける。(オーダー用紙はTICにある。)
- (8) 招集完了時刻に遅れた競技者(チーム)は、出場できない。

3. 競技について

(1) トラック競技

- ① スターターの合図は英語とする。(小学生も同様とする)
- ② 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること
- ③ 男子 5000mW はスタート後 30 分、女子 5000mW はスタート後 35 分でレースを打ち切ることがある。

(2) フィールド競技

- ① フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ② 跳躍・投てき(やり投)競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。
- ③ 三段跳の踏切板は、男子 13m・女子 10m で行う。
- ④ 棒高跳の競技者は、自分が希望するバーの位置を競技が始まる前に担当審判員に申し出ること。その後バーの位置を変更したい場合も、担当審判員に申し出ること。
- ⑤ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りである。
(ただし、天候等の状況により審判長の判断で変更することがある。)

	練習 A	練習 B	練習 C	1	2	3	4	5	6	7	
女子走高跳	1m45	1m65		1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	1m71	1m74	以後 3cm
男子走高跳	1m80	2m00		1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m10	2m13	以後 3cm
女子棒高跳	2m80	3m20	3m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m50	3m60	3m70	以後 10cm
男子棒高跳	4m20	4m70	5m00	4m30	4m50	4m70	4m80	4m90	5m00	5m10	以後 10cm

※練習は A, B のいずれか希望する高さで行なう。

※第 1 位決定のバーの上げ下げは、走高跳では 2 cm、棒高跳では 5 cm とする。

(3) 小学生特別規則について

① 小学生のスタートについて

- ・同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。
- ・スタートはクラウチングスタートを原則とする。スターティングブロックの使用は任意とする。

② 本大会におけるコンバインド競技は次の順序で行う。2種目目の前には改めて招集を受けること。

- ・コンバインドA： ①走高跳、②80mハードル
- ・コンバインドB： ①ジャベリックボール投、②走幅跳

③ 各種目の得点は『JAAF 小学生コンバインド種目得点表（2022年度改訂版）』による。得点は男女共通とする。

④ 80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。

⑤ スタートまたは試技を行い、途中棄権（DNF）、記録無し（NM）、失格（DQ）および参考記録（80mハードルにおいて不正スタートとなりオープン参加時の記録）の場合、得点は0点とする。

⑥ 1種目目に出場し、途中棄権（DNF）、記録無し（NM）、失格（DQ）、参考記録の場合、2種目目の出場は可能とする。

⑦ 1種目目で欠場した（スタートまたは試技を行わない）競技者は、2種目目には出場できない。

⑧ 1種目目または2種目目のいずれか、または両方において、途中棄権（DNF）、記録無し（NM）、失格（DQ）、参考記録の場合、2種目の合計得点は、コンバインド得点として認められる。

⑨ 2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とする。

⑩ 80mハードルは、男女ともにハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。

⑪ 小学生の走高跳・走幅跳・ジャベリックボール投げの公式練習は主競技場で実施する。補助競技場及び競技場周辺での練習は禁止する。

⑫ 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。また、自分が申告した高さから試技を開始し、2回続けて失敗した時点で終了とする。

走高跳のバーの上げ方（天候により変更有）

（練習）（AB選択） （開始）

A 0m90 B 1m10 0m95 1m00 1m05 1m10 1m15 1m20（以後も5cmきざみとする）

⑬ コンバインドBの走幅跳、ジャベリックボール投は全員2回の試技とする。

⑭ ジャベリックボール投の助走距離は15m以内とする。

⑮ ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。羽だけを持って投げることは禁止する。

⑯ リレー競技（男女混合4×100mリレー）は男女各2名から編成され、男女の走順は自由とする。（補欠についても男女各1名ずつとする。）

⑰ リレー競技のエントリー者のうち、リレー競技に出場しない競技者は友好レース（男女別100m）に出場できる。

また、当日、チームが棄権となった場合、残りの選手は友好レースに出場できる。

10時00分までに友好レース出場者を書面にてTICに提出すること。

⑱ 予選と決勝でメンバーや走順の変更はできない。ただし、リレーの予選に出場した競技者がけが等により決勝レースに出場できなくなった場合は、オーダー用紙提出前にTICに申し出をし、認められた時に出場できる。

⑲ 競技に際してはシューズ又はオールウェザー用のスパイクを使用すること。スパイクのピンは全種目9mmを超えないものとする。また、靴底の厚さについては、「競技用靴に関する規定」を適用しない。

⑳ アスリートビブスは支給されたままの大きさとユニフォームの胸と背につける。（全種目とも、胸・背の両方につける。）

(3) 暑熱対策として、競技運営方法を変更することがある。

(4) WRk申請大会とする。ただし、5000mWについては除外とする。

4. ビデオ監視システムについて
 - (1) ビデオ監視システムにより、判定を行うことがある。

5. アスリートビブスについて
 - (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。跳躍競技は胸または背につけるだけでもよい。
 - (2) 写真判定用の「腰ナンバーカード」はランニングパンツの左右横や後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつける。リレー競技は第4走者がつけること。
 - (2) 4×400リレーの1～3走者は、右腰に腰ナンバーカードを付けること。
 - (3) 5000m wについては、専用の胸・背ビブスをTICで貸与するので、招集完了30分前までに各自のアスリートビブスを持参して来ること。ゴール後返却のこと。

6. 競技場への入退場について
 - (1) 入場は、全て招集所より係員の誘導により行う。
 - (2) 退場は、下記による。
 - ①トラック競技（直線競技）は、フィニッシュ地点の第1ゲートよりメインスタンド外側通路を通り退場のこと。
 - ②周回競技はトラック外側または、ダッグアウト通路を通り、スタート地点へ戻ること。※ただし決勝において1～3位の入賞者は、係員によって表彰控え席に誘導する。
また、フィールド競技の1～3位は 競技役員の誘導により表彰控え席に誘導する。

7. レーン順・試技順について
 - (1) トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
 - (2) 決勝の組み合わせ及びレーンは、大型映像・アナウンス・三重陸協HPで知らせる。

8. トラック競技の次のラウンド進出の決定について
 - (1) タイム、着順により次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足する時の処置は、抽選により決定する。(TR21)

9. 抗議について
 - (1) 競技に関する抗議は、競技規則(TR8)により、本人または監督からTICを通じて審判長に対して口頭で申し出ること。
 - (2) 審判長の裁定に不服な場合は、ジュリーに預託金10,000円を添えて文書で上訴すること。この預託金は上訴が却下された場合は、返却しない。「上訴申立書」は担当総務員席に準備する。

10. 助力について (TR6)
 - (1) 競技者は、勝手に競技場所を離れてはならない。
 - (2) 競技場内での競技者への助言は、決められた場所（コーチ席）で行うこと。
 - (3) フィールド種目の競技者による映像確認については、メインスタンドからは、不可とする。

11. 撮影について

- (1) スマートフォン・タブレットでの撮影は可。望遠付きカメラ、ビデオカメラでの撮影は不可。
- (2) 撮影禁止エリア(各種目スタート後方、跳躍競技助走後方・着地後等)が設定されているので、厳守のこと。
撮影の禁止対象は、選手が待機をしている時やスタートを待っている時、スターティングブロックを合わせている時や、ゴールをしたあとや着替えをしている時などとする。
※著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、速やかに警察に連絡いたします。

12. 競技用具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。
ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。ポールについては競技開始前に跳躍審判員の検査を受け、許可されたものでなければならない。
- (2) 投擲器具については、個人所有のものも認めるが、WA承認品であることとし、競技開始1時間30分前～1時間前の間に検査を受け、一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとする。(TICまで持参のこと。返却もTICで行う)
※但し、競技場に2つ以上あるものについては、検定は行わない。

13. 表彰について

- (1) 各種目 1位～3位には、賞状と賞品、4位～8位には賞状を授与する。
(小学生リレーの賞状については、各チーム5枚とする。)
- (2) 表彰式は1～3位入賞者に対して行なうので競技終了後、競技役員の誘導で表彰控え席(正面エントランス)に集合のこと。
- (3) 4～8位入賞者は成績発表後、賞状を正面玄関横まで各自受け取りに来ること。
- (4) 小学生友好100mは、表彰および、賞状の対象外とする。

14. 競技場の使用について

- (1) 開門時間以前には立ち入らないこと。(警報器が作動します)
※メイン競技場には、第1ゲート(100mゴール付近)及び第4ゲート(100mスタート付近)から入場すること。
- (2) メインスタンド1階の入場はADカード着用者のみとする。
- (3) タープテント等の簡易テントの使用は、芝生スタンドのみとする。
- (4) メインスタンド通路より下へチームベンチを設置することを禁止する。
- (5) 横断幕は芝生スタンド上部、バックスタンドのみ可能とする。(最前列は禁止)
- (6) 競技場、観覧席とも汚さないように気をつけ、使用した者で清掃し、ゴミは各自で責任をもって持ち帰ること。
- (7) 更衣室は、TICで使用許可書を申請し使用のこと。
- (8) 選手の移動は、本競技場内を通らず、競技場外周を使用すること。
- (9) メインスタンド2階コンコースへのベンチ設置は、競技場の許可箇所のみとする。
防水塗装保護のため、ブロック(石等も含む)、粘着テープ等の使用を厳禁する。
- (10) 補助競技場内でのチームベンチの設置は禁止する。

15. ウォーミングアップについて

(1) 主競技場の使用については、以下の通りとする。

	開門時間	練習時間	その他
22日(金)	13時00分	13時00分～16時30分	※小学生使用不可
23日(土)	7時15分	7時30分～8時45分(トラックのみ)	※小学生使用不可
24日(日)	7時15分	7時30分～9時15分(トラックのみ)	

1・2レーン	中長距離、
3～7レーン	短距離、流し、ダッシュ
8・9	ハードル

- ① 跳躍種目の練習は、所定のピット(走高跳・棒高跳・走幅跳のみ)で行う。(22日(金)のみ)
- ② 投てき練習は不可とする。
- ③ その他、競技役員の指示に従うこと。

(2) 補助競技場の使用については、以下の通りとする。

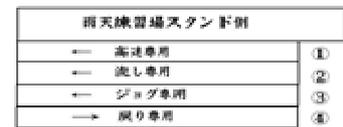
	開門時間	練習時間	その他
22日(金)	13時00分	13時00分～16時30分	※小学生専用使用
23日(土)	7時15分	7時30分～16時30分	
24日(日)	7時15分	7時30分～16時30分	

1・2レーン	中長距離、
3～6レーン	短距離、流し、ダッシュ
7・8	ハードル

- ① 跳躍種目の練習は、所定のピットで行う。
- ② 投てき練習は不可とする。
- ③ その他、競技役員の指示に従うこと。

(3) 雨天練習場(バックスタンド下)の使用については、下記の通りとする。

- ① スタンド側の1レーンは、流し専用とする。
- ② 内側の2レーンは、高速専用とする。
- ③ 多目的グラウンド側は jog 専用とする。
- ④ 事故防止の為、スターティングブロックの設置は禁止する。
- ⑤ 走路の横断は禁止する。スタンド及び補助競技場への移動は、
- ⑥ 走路に沿って移動し、第2ゲートおよび第3ゲート付近から通行をすること。
- ⑦ 全天候舗装部分をチームのベンチにすることを禁止する。



オールウェザー部分をベンチに使用する事を禁ずる

(4)その他

※投擲練習（多目的広場、投擲場等すべての場所で）は、不可とする。

※各練習場所において、安全に留意し事故を起こさないようくれぐれも注意して行うこと。

※特に第4コーナーと直送路の交わるあたり、及び雨天練習場での練習は、十分に気をつけること。

16. その他

- (1) 貴重品類は各自で保管すること。万一の事故があっても責任は負わない。
- (2) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室(メインスタンド下)において処置を受けること。
応急処置後は、責任をもたない。
- (3) 競技場に商品名のついた衣類、バックを持ち込む場合は以下の規定を守ること。
- (4) 棒高跳用ポールの返送希望者は競技場事務所受付にて手続きをすること。両日とも16時まで受け付ける。
- (5) 自家用車の駐車については、西駐車場および多目的グラウンドを利用のこと。満車の場合、河川敷駐車場（有料）を利用してください。路上駐車は厳禁。（バスは、係員の指示に従って西駐車場に駐車してください。）

参加申込書に記載の個人情報は個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取り扱う。尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に使用する。また、本大会はインターネットで動画配信を行うことがある。本大会の映像・動画は主催者の許可なく第三者が使用することを禁止する。また、大会出場中における映像・写真・記録等への掲載権は主催者に属す。